

こども防災キャンプの実施について

1. はじめに

高知県では、子供たちが学習体験を通じて様々な自然災害に対応する力を身につけるとともに、地域全体に防災意識を広げていくことを目的とした「こども防災キャンプ」の実施に平成18年から取り組んでいる。

今年は6月30日に伊野南小学校で実施したので事例を紹介したい。



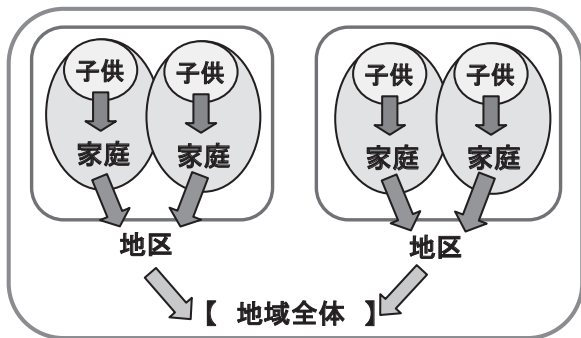
開会式の状況

2. 実施の目的・内容

「こども防災キャンプ」は、主に学習や体験したことをすぐに吸収できる、感受性の豊かな小学生を対象として、保護者の皆様も一緒に参加できる「授業形式体験型学習」として土曜日等に実施している。

具体的には、降雨体験装置、起震車、土石流3Dシアター、造波模型等の体験装置を関係機関の御協力により配備し、自然災害等を擬似的に体験していただく。

また、当日は地域の方々も参加いただき、子供と一緒に学習してもらうことで、地域全体の防災力の向上を図ることも目的の一つである。



「地域防災力向上」のイメージ

3. キャンプ当日

キャンプ当日の6月30日は前日から大雨となり、学習の目玉となる体験装置が搬入できるか、関係者の皆様に心配をおかけしたが、雨天時の授業内容に変更することなく、無事予定どおり実施することができた。

参加者は、生徒の皆さんや地域の方々、運営スタッフも含め約380人の大人数で、9項目の防災学習を行った。

生徒の皆さんは、昼食のアルファ米のおにぎりやツナ汁も含めて楽しみながら体験型授業を通じて学び、いざという時に備える力が身についたのではないかと思います。

特に、土砂災害学習では、「何十年に一回の規模の大雨なのに、なぜこんなに何度も発生するのですか。」といった、答えに窮するような鋭い質問もあり、真剣に取り組んでいることに感心させられた。



土砂災害学習の状況

4. まとめ

今後も、このような取組みを通じて子供や地域の方々に、正しい知識を身につけていただき、的確な避難行動等に繋げてもらうため、私達も学習内容の工夫や、プレゼンテーション能力の向上に努めていきたいと考えている。

(高知県 土木部 防災砂防課 野中 久和)